



インフルエンザを予防！ しっかり手洗い、きちんとマスク

令和2年1月29日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和2年第4週分・1月20日～1月26日)

《インフォメーション》

●インフルエンザ

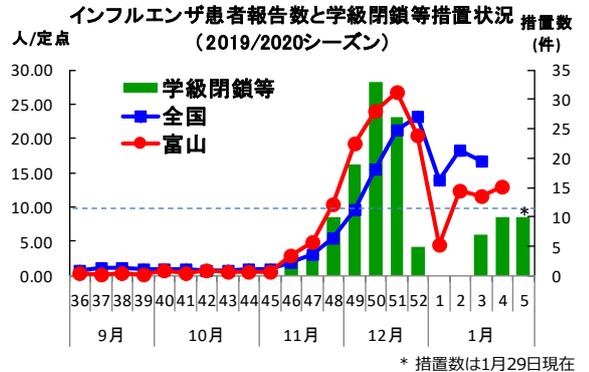
今週、県内のインフルエンザ報告数が定点医療機関あたり13.06人となり、先週(11.67)から増加しました。インフルエンザによる学級閉鎖等の措置は1月29日現在、130件(保育所・幼稚園10件、小学校109件、中学校10件、その他1件)報告されています(図参照)。

全国のインフルエンザウイルスの検出状況は、1月29日現在、AH1pdm09が2,301件(93.8%)、AH3(香港型)が75件(3.1%)、B型が76件(3.1%)となっています。県内では、AH1pdm09が72件、B型が1件検出されています。全国、県内ともにAH1pdm09が大半を占めています。

インフルエンザはインフルエンザウイルスによって起こる気道を中心とした急性感染症です。感染経路は主に飛沫、接触感染です。典型的にはウイルスに感染後、1～2日の潜伏期を経て38℃を超える高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が突然現れるのが特徴です。特に、小児では脳炎・脳症、高齢者では肺炎等の合併症に注意が必要です。

次のことに注意して、インフルエンザの感染予防に努めてください。

- ワクチンを接種する
- 咳エチケットを守る
- 外出後の手洗いを徹底する
- 室内の湿度を適度(50～60%)に保つ
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がける
- 症状がある場合は早めに医療機関を受診する



《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 4件 (①第2週診断分: 70歳代、男性 ②20歳代、男性 ③60歳代、男性 ④70歳代、女性)

四類感染症 A型肝炎 1件 (70歳代、女性)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (80歳代、女性)

水痘(入院例) 2件 (①第3週診断分: 10歳未満、男性

②第3週診断分: 30歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	13.06 (↑)	11.67
2位	感染性胃腸炎	9.72 (↑)	7.93
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.00 (↑)	5.45
4位	伝染性紅斑	0.76 (↓)	1.10
5位	水痘	0.59 (↑)	0.21
6位	突発性発しん	0.41 (↑)	0.38

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第4週 令和2年1月20日～令和2年1月26日）

分類	疾患	今週報告分（第4週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核				1	2	3	1			1	7	9
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1		2	3
四類感染症	A型肝炎	1					1	2					2
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				1		1				1		1
	急性脳炎							2					2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症											2	2
	侵襲性肺炎球菌感染症									1		1	2
	水痘（入院例）									1		2	3
	百日咳											3	3
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	75 10.71	66 13.20	174 13.38	95 13.57	217 13.56	627 13.06	369	187	441	427	575	1,999
	RSウイルス感染症		1 0.33	4 0.50		3 0.30	8 0.28	1	4	8		12	25
	咽頭結膜熱	2 0.50	1 0.33	5 0.63		3 0.30	11 0.38	6	5	15		11	37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 2.25	3 1.00	90 11.25	8 2.00	93 9.30	203 7.00	18	12	192	32	232	486
	感染性胃腸炎	44 11.00	38 12.67	39 4.88	30 7.50	131 13.10	282 9.72	138	72	128	67	402	807
	水痘	3 0.75	5 1.67	3 0.38	1 0.25	5 0.50	17 0.59	10	6	7	3	23	49
	手足口病	2 0.50			1 0.25	7 0.70	10 0.34	7		7	1	29	44
	伝染性紅斑	4 1.00		2 0.25		16 1.60	22 0.76	6	4	7		59	76
	突発性発しん	1 0.25		4 0.50	2 0.50	5 0.50	12 0.41	3	2	14	6	13	38
	ヘルパンギーナ			2 0.25			2 0.07	4		2			6
	流行性耳下腺炎										2		2
	流行性角結膜炎			1 0.50			1 0.14		2	6			8
	無菌性髄膜炎										1		1
	マイコプラズマ肺炎				2 2.00		2 0.40		1	1	3		5
	インフルエンザによる入院患者（*）	3	1	2	6	3	15	36	5	25	49	39	154

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

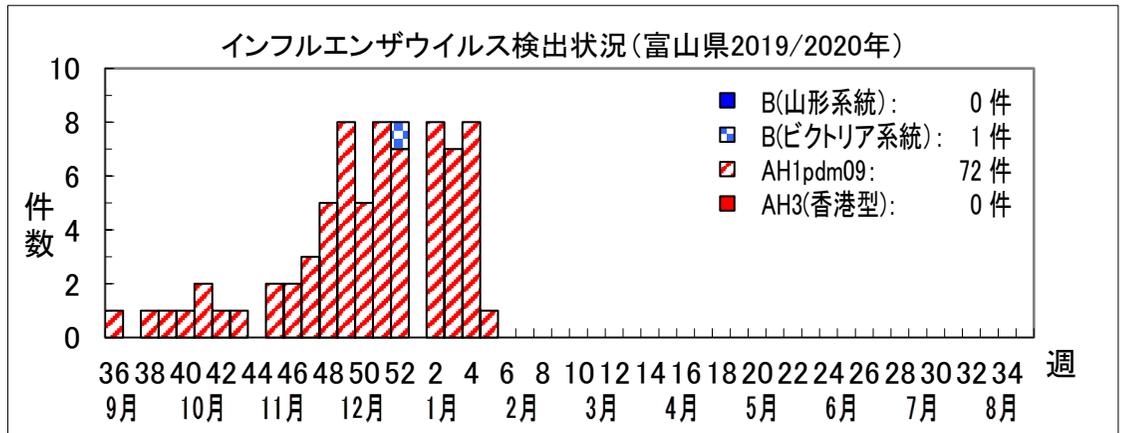
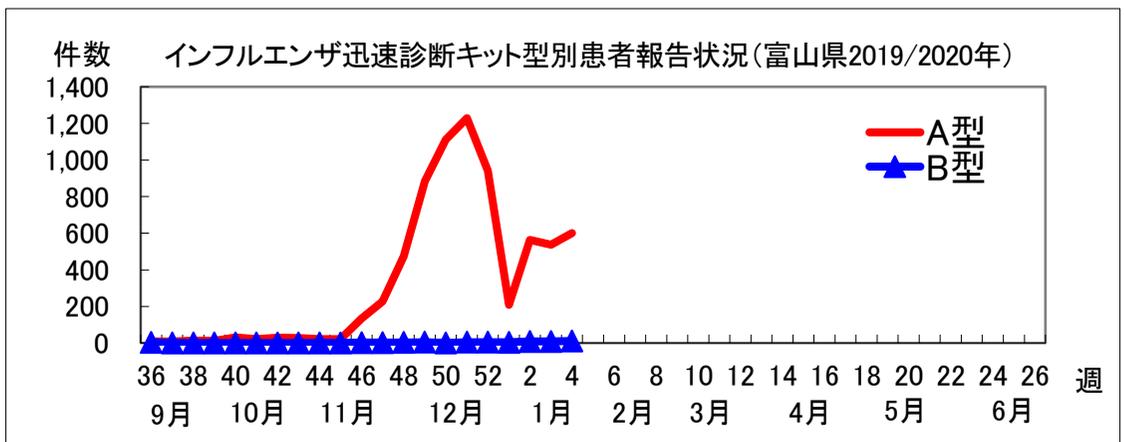
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が95.9%となっています。

第4週(1/20~1/26)：富山県 13.06人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	72	1	2	75
中部	5 / 5	66	0	0	66
高岡	12 / 13	169	0	5	174
砺波	7 / 7	89	6	0	95
富山市	15 / 16	205	4	8	217
富山県	46 / 48 ^{※1}	601	11	15	627
富山県累計(2019年36週~)		7,106	63	282	7,451

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が46か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



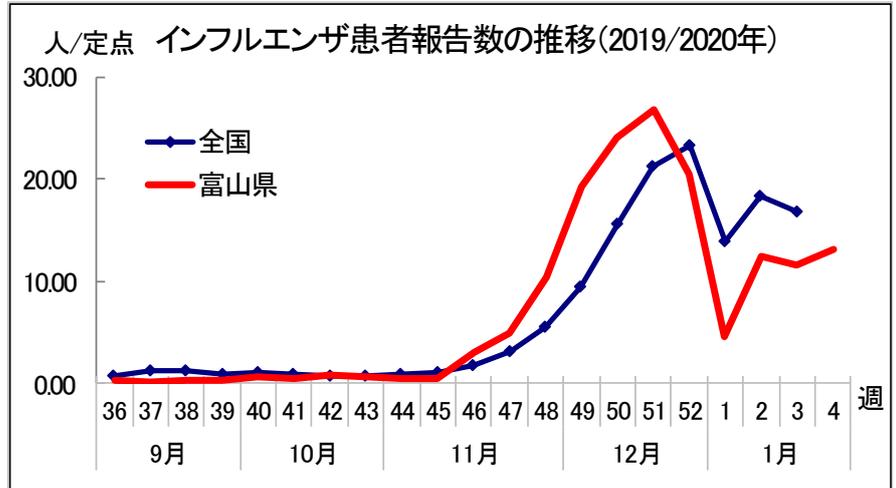


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第4週 (1/20~1/26) : 富山県 13.06 人/定点

新川 HC (10.71)、中部 HC (13.20)、高岡 HC (13.38)、砺波 HC (13.57)、富山市 HC (13.56)

今週、県内のインフルエンザ報告数は、定点医療機関あたり13.06人となり、先週(11.67)から増加しました。注意報レベルとなる10人を超えている状況が続いています。

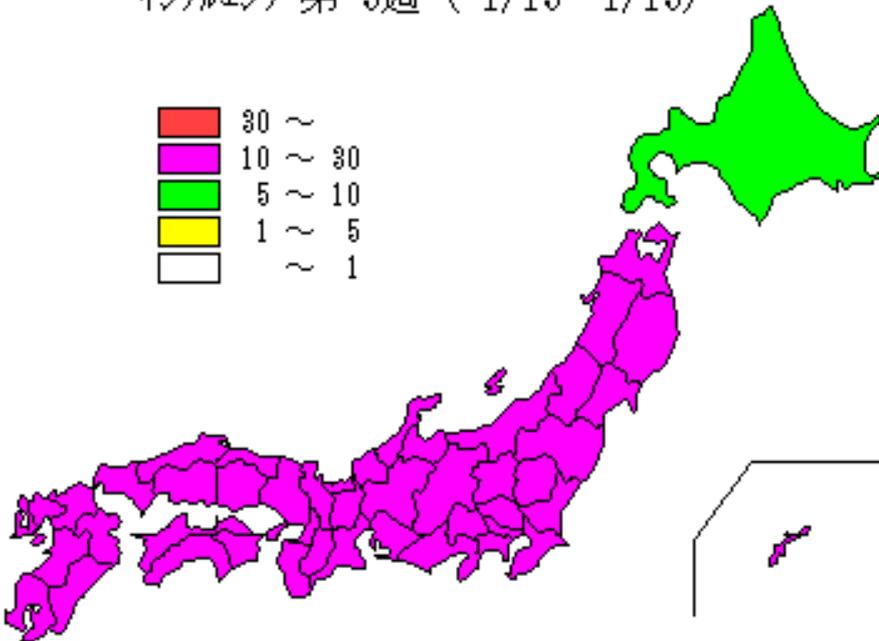


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第3週 (1/13~1/19)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり16.73人となり、前週の18.32人より減少しました。

11県で前週より増加しています。36都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第3週 (1/13- 1/19)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	7.60	滋賀県	19.83
青森県	10.00	京都府	16.65
岩手県	13.60	大阪府	18.50
宮城県	12.54	兵庫県	16.59
秋田県	15.61	奈良県	14.02
山形県	14.28	和歌山県	17.59
福島県	18.17	鳥取県	18.00
茨城県	16.30	島根県	13.39
栃木県	14.07	岡山県	22.61
群馬県	20.87	広島県	13.00
埼玉県	17.29	山口県	12.81
千葉県	18.65	徳島県	15.84
東京都	11.75	香川県	21.40
神奈川県	11.07	愛媛県	22.54
新潟県	15.13	高知県	26.58
富山県	11.67	福岡県	23.55
石川県	13.08	佐賀県	20.59
福井県	25.81	長崎県	24.87
山梨県	15.49	熊本県	12.93
長野県	17.41	大分県	22.52
岐阜県	19.63	宮崎県	23.39
静岡県	21.43	鹿児島県	22.13
愛知県	24.06	沖縄県	21.03
三重県	15.94	全国	16.73